



“ ^{しゅわ}手話 + ^{えがお}笑顔 + ^{なかま}仲間 = ^{しあわ}幸せ ”

さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信

第11号 2019年11月発行



(サ高住)

(小多機)

ほほえみの郷・ほほえみ手稲 合同企画 『敬老のお祝い会』



9月13日(金)に、ほほえみの郷とほほえみ手稲で、毎年恒例の合同企画『敬老のお祝い会』を開催しました。

この企画では数え年で節目の年齢を迎えられた方々に職員が真心を込めて作ったプレゼントカードを贈ります。また、昼食はいつもと違い、少し豪華なお弁当を用意して入居者、利用者の皆様そして職員一同で節目の方々をお祝いします。今年は7名いらっしゃいました。

(白寿1名・卒寿1名・米寿2名・喜寿2名・古希1名)

ほほえみの郷、ほほえみ手稲の入居者、利用者の皆様は高齢を感じさせないお元気な方が多いです。白寿っていくつ?米寿っていくつ?文字だけではいくつのお祝いかわかりませんよね。それぞれが何歳を意味しているか下に簡単にまとめてみました。

今年のお弁当は、いなり寿司と太巻きのお寿司弁当でした。職員によるクイズのお楽しみもあり、皆さん心もお腹も満たされ、大変良い会になりました。来年も再来年も皆さんでお祝いができるよう健康で長生きしましょう!と大盛況でお祝い会は終了しました。



白寿(はくじゅ)
年齢…99歳
百(歳)という字から一を引くと白になることから

卒寿(そつじゅ)
年齢…90歳
「卒」という略字が「卒」で漢字の九と十で表されることから

米寿(べいじゅ)
年齢…88歳
「米」という漢字が八十八を重ねてあるように見えるため

喜寿(きじゅ)
年齢…77歳
「喜」の草書体が「喜」と七が重なっていることから

古希(こき)
年齢…70歳
「70歳まで生きることは古くから稀」ということから



← 節目のお祝いを迎えられた皆様には、今後の抱負や感謝の言葉などご自身の気持ちを発表していただきました。

しょうきぼたきのうがたきよたくかいご
小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲

作品のご紹介

こんにちは！ほほえみ手稲です。

今回の通信では利用者の皆さんで作成した多くの作品の中からいくつか選りすぐりのものを皆さんにお見せしたいと思います！



「ほほえみの木」

一本の大きな木に、四季に合わせて様々な花や植物で彩りを添えます。職員と利用者の皆さんでアイデアを出し合い作り上げます。



「四季の壁貼り絵」

春夏秋冬に合わせて壁を覆うほどの大きな一枚絵を皆さんで協力して貼り絵していきます。出来上がった時の達成感は大きいです！



「柿の実」

利用者の皆さんからエレベーターの周りが寂しい！と声上がり、風情ある柿の実を作ってぶら下げました。夏はヒマワリが辺り一面を埋め尽くしていましたよ。

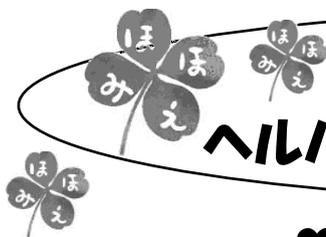
工作など物づくりが好きな利用者の方々はたくさんいらっしゃいます。職員がお手本でなにか作ってみせると、各々の発想が加わり、とても素敵な作品が出来上がるので、職員は驚かされるばかりです。

この他にも紹介したい作品はたくさんありますが、ありすぎて紹介しきれません。

今は新年に向け、ほほえみの郷内に設置する「ほほえみ神社」の鳥居を作成中です。

気軽に初詣へ行けない方々から、ここに鳥居を作ってお参りをしたいという要望があり、それがきっかけで2年連続で作っています。今年の鳥居は男性陣が奮起し、とても立派なものになるかも…？

ほほえみの郷・ほほえみ手稲に遊びにいらしたときには、是非、皆さんが作った作品もご覧になってくださいね。



こんにちは！ ヘルパーステーションほほえみ白石です



研修に参加しました

利用者やご家族の皆様が安心して生活できるよう、ヘルパーは日々学んでいます。その中で今回は、外部で開かれた研修に参加して学んできたことをご紹介します。

リスクマネジメント研修 ～利用者のケア向上のために～

研修では、「高齢者の急変時・緊急時対応」「感染症のリスクと対策」等について学びました。講義を聴くだけでなく、グループワークや演習もあり、とてもわかりやすかったです。



急変時・緊急時対応については、「いつもと違う状態」に気がつく事が重要で、そのためにも「いつもの状態を把握しておくこと」が基本、と学びました。ヘルパーは基本的に利用者様宅で1対1の支援です。連絡してすぐ応援が駆け付けられるとは限らず、他の目が少ない分ヘルパー自身が小さな変化に気づき、対応する必要があります。日頃から利用者様とコミュニケーションをとり「気づき」を大切にしていきたいです。

感染症のリスクと対策では、手洗いチェックができるクリームをつけて、実際に手洗い体験をしました。いつもより時間をかけ丁寧に手洗いたのに、調べてみると手のひらのシワにクリームの洗い残しが…手洗いの大切さを再確認しました。急いでいる時でも、利用者様も自分も守るためには手洗いは大切ですね。



食の楽しみを続ける～自分で食べる喜びをいつまでも～

この研修では、食べるために必要な支援について学び、とても勉強になりました。

食べるだけでなく、食べる前の環境作りや準備…例えば、車いすから椅子に座り替える、なども、楽しく食べるために大切な支援の一つだとわかりました。



また、講師の先生の話で出てきた「食べないから死ぬのではありません。死ぬから食べられなくなるのです」との言葉。それを聞いて心打たれました。身体が受け付けない・食べたくないのに「食べなさい」と勧められるストレス。そうではなく、少量でも好きな味を探して口にし、味わうことを楽しめるようにすることも支援です。口内を整える口腔ケアも大事です。

この研修を生かして、これからも自分を磨いて支援を続けていきます。

ヘルパーステーションほほえみ白石

聞こえない方の暮らしを一緒に支えましょう！



①訪問介護員（正職員）1名

勤務時間：月～土 7：00～20：00の間

8時間×週5日 シフト制

資格等：介護福祉士

サービス提供責任者経験者 歓迎

②登録ヘルパー

勤務時間：月～土 7：00～20：00の間

※日数・時間帯は応相談。直行直帰も可能です。

活動範囲：札幌市内全域

資格等：介護職員初任者研修以上

※年齢、性別は問いません。

※未経験・聴覚障害の方の応募も歓迎します。

まずは一度お問い合わせください！→

ヘルパーステーションほほえみ白石
電話 011-876-8256/FAX 011-876-8257
Mail hst-ho-shiroishi@sadeaf.jp

ほほえみ手稲ではボランティアも募集中！

活動内容：

- レクリエーションの補助
- 散歩や行事等外出時の付き添い
- ゲームや趣味のお相手



活動時間等： ※月一回の活動でも OK

レク補助→毎 日 午前 10：00～12：00

午後 13：30～15：30

外出時の付き添い→行事等に合わせてお声掛け

あたたかい時期はちょっとした散歩など、外出の機会も増えます。

見学・体験も大歓迎です。ぜひ一度お問い合わせください！

聞こえない人の生活を一緒に支えませんか

～職業説明会～

どんなところで何の職業をするの？
興味はあるけど、どこで話をきこう…
そんなアナタ！ぜひお越しください！！

日時：11月29日（金）18：30～20：00

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター

（札幌市中央区大通西 19 丁目）

※申込不要。直接お越しください。

【お問い合わせ】

札幌聴覚障害者協会 法人事務局

TEL 011-642-8010

FAX 011-642-8377

Mail houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【各所の連絡先】

ヘルパーステーションほほえみ白石

〒003-0825 白石区菊水元町 5 条 1 丁目 9-8

電話 011-876-8256/FAX 011-876-8257

Mail hst-ho-shiroishi@sadeaf.jp

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷

〒006-0032 手稲区稲穂 2 条 7 丁目 5-7

電話 011-691-3883/FAX 011-691-3884

Mail hohoemi-sato@sadeaf.jp

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲

（ほほえみの郷内）

電話 011-691-7660/FAX 011-691-7661

Mail hohoemi-teine@sadeaf.jp